

6月定例会のあらまし

6月定例会は、5月26日から6月24日の30日間の会期で開催されました。

初日には、専決処分1件の承認、人事案件4件を同意しました。また、財産の買入れについてから令和4年度弥富市一般会計補正予算（第3号）まで6議案について、市長からの提案後、質疑、討論、採決を行い原案どおり可決しました。その後、弥富市立保育所条例の一部改正ほか10議案が提出されました。

中日には、弥富市長の給料の特例に関する条例の制定についてと、弥富市副市長の給料の特例に関する条例の制定についてが追加提案され、これら13議案を所管の委員会に付託、審議し初日提出11議案は原案どおり了承、中日提出2議案は賛成少数により否認しました。

最終日には、工事請負契約の締結ほか2議案が追加提案され、初日提出11議案は原案どおり可決、中日提出の弥富市長の給料の特例に関する条例の制定についてと、弥富市副市長の給料の特例に関する条例の制定については賛成少数で否決、最終日提出3議案は全会一致で可決しました。

本会議初日



議案質疑



令和4年度弥富市一般会計補正予算

問 給食費高騰分を補填する予算の財源はコロナ対策の臨時交付金か。

答 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のうち「コロナ禍における原油価格・物価高騰分」として配分されたもの。

問 コロナ対策や、物価高騰対策の国からの補助金の残額は。

答 通常分と原油価格物価高騰対応分も合わせ、約1億7700万円。

弥富市立保育所条例の一部改正について

問 民営化のメリット、デメリットは。

答 メリットは、新たな保育サービス等の導入が期待できる。デメリットは、環境の変化が考えられるが、

引継ぎ保育を実施し、児童への影響を軽減する。

問 ひので・弥生保育所の残存価値は。

答 ひので保育所は約1億8200万円、弥生保育所は約2億4300万円。

弥富市長の給料の特例に関する条例の制定について

弥富市副市長の給料の特例に関する条例の制定について

問 本日、議案を提出しなくてはならなかった理由は。

答 職員の処分も終了し、適正化委員会の報告もまとまりつつあるため。

問 教育長が辞職されているが、給料月額1割削減は適正な処分か。

答 他の市町村を参考にしたので適正であると考え

本会議最終日



令和4年度弥富市一般会計補正予算

問 教育相談事業375万円はスクールカウンセラー何名分の報酬か。

答 週5日、1日6時間の雇用に必要な額。

問 スクールカウンセラーの活動範囲は。

答 中学を拠点に小、中学校を範囲とする。

可決 議案第38号に対して

反対 佐藤仁志、那須英二議員

移管法人を短期間で決めるということが問題。引き継ぎ保育をしようとしているが、現実には信頼すべき保育士が代わってしまう。2億円の残存価値がある建物を無償で譲渡することは市民に対する背信行為で、経費が削減できるという説明は根拠が乏しい。

反対 佐藤仁志、横井克典、板倉克典議員

否決 議案第46号、47号に対して

江崎貴大、堀岡敏喜議員

賛成

討論

「給料を減らすため必要があるからである」と具体的に減額する理由が明記されていない。市長及び副市長の責任は、教育長の責任（辞職）からして、給料月額1割削減より重いものである。事案発覚後の、市長・副市長の危機管理能力の欠如と言える。事案が未解決のまま、早々に幕引きを図るように議案を提出したため。

不適切な会計処理、公金の紛失発生という事実に対する管理監督責任、市民に対する責任を負うものとして、市長・副市長の給料の減額を行うもの。組織としての責任の取り方であると認識し、妥当と判断。行政のトップとして責任を取りたいという気持ちは、否認するのではなく尊重すべきもの。